

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和2年1月31日

事業所名: 発達サポート 児童デイやまびこ

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		・可能な限り屋内環境を広く活用できるよう整理整頓している。	・多機能のため長期休業日は児発利用児と同スペースであり狭く感じる。部屋を分けるなど体制の検討が必要である。
	2	職員の配置数は適切であるか	○				・長期休業日等、日により見守りが手薄になるため必要に応じて応援依頼をするなど対応をしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・毎月業務改善職員会議を実施している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・評価表によるご意見があった場合適宜改善に向けた検討会議を実施している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				・公開療育や研修等参加し、職員会議を行い業務の共通理解を図っている。今後は自己啓発の研修等の機会を積極的に設けていこうと考えている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				・重症児の状態像の違いからアセスメントツールの活用が難しい現状もある。状態像を見極め適切なアセスメントの実施を行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・保育士が中心となり計画を立案しており内容に沿って看護師と連携し意見を反映させプログラムの立案、実施している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・季節感を取り入れ同じ活動でも変化が出るようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○			・長期休業日には継続できる課題の設定を行っているが、平日、休日に分けての設定は行っていないため検討していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・子どもの選択による意向を組み合わせ集団、個別活動を計画している。	・計画はできているが沿った実践、内容の深さ等課題がある。
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・活動や支援に入る前には必ず事前の打ち合わせ、役割の確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○			・支援に入ったスタッフ間で気になった点があれば振り返りを行っているが、毎日ベースでの振り返りはできていない。時間の確保等の課題がある。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				・記録から振り返り改善につなげている点もある。記録の中身や質の向上に課題もある。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○					

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・担当者会議には医療面、療育面での専門スタッフが会議に参加するようにしている。	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・送迎時間を利用し、学校関係者と連携の時間を設けている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○		・家族を通じて医療面での情報は得ているが主治医との直接的な連絡体制はなく課題である。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		・障害福祉サービス事業所への移行の事例はまだない。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・公開療育や事業所連絡会、多機関連携勉強会へ参加している。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		・センター内の利用児との交流はあるが、園外での交流の場は設けていない。今後検討していく。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎時や連絡帳、定期的な面談で共通理解を図っている。	
保護者への説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		・ペアレントトレーニングプログラムの計画、実施は現状できていないのが課題である。トレーニングについての職員の知識、技術の向上を目標に取り組んでいく。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・通常の療育活動見学を常時受け付け、その際保護者同士が交流できる機会、場の調整を行っている。	・年2回程度交流の場は設けているが機会を増やすことについてニーズが高いため今後、日程調整等課題である。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	35 個人情報に十分注意しているか	○			・HPや掲示物、会報、研修会等に使用する各個人情報についてその都度事前に使用許可を頂いている。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・利用児の思いや表出を汲み、情報を保護者に適宜伝達できるよう努めている。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○			・訓練の実施日、訓練内容等保護者への周知が不足している。事前に伝達し周知できるよう努める。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・全職員必須で関連の研修会に参加している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・作成された事例において事業者内で回覧、共有し必要に応じて事例対策会議等を行っている。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。